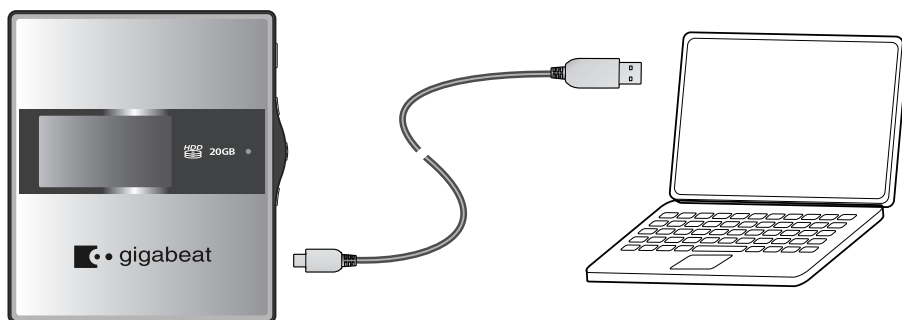
TOSHIBA

gigabeat G40 / G22 / G10 / G5

アプリケーションソフト
TOSHIBA Audio Application

取扱説明書

このイラストはMEG202のイメージです。

この取扱説明書では、東芝デジタルオーディオプレーヤーgigabeatと組み合わせて使うアプリケーションソフトTOSHIBA Audio Applicationのインストール方法と基本的な使いかた、およびWindows Media Player 9シリーズを使っての転送の方法について説明しています。
TOSHIBA Audio Applicationをお使いになる前に、gigabeat本体の取扱説明書もご覧ください 。

使用上のお願いとお知らせ

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書は、お客様のパソコン等で使用できます。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書によって機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 意匠、仕様、ソフトウェアおよびこの取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- この取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

商標について

- gigabeat は株式会社東芝の商標です。
- Microsoft 、Windows および Windows Media は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。

著作権について

お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

オーディオデータについて

- 本製品やパソコンの不具合で、オーディオデータやその他のデータが破損または消去された場合、そのデータ内容の補償はできません。
- 転送したオーディオデータは、内蔵ハードディスク上で暗号化されているため、別の gigabeat や他のメディアにコピーしても再生できません。

お使いになる前に、gigabeat 本体の取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

もくじ

はじめに

準備する

使用する

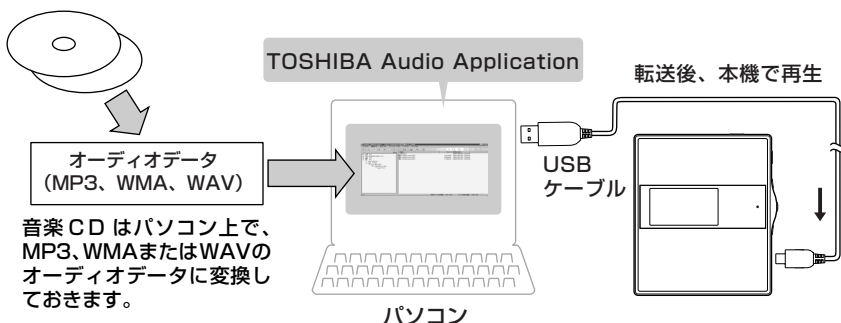
その他

TOSHIBA Audio Applicationとは

TOSHIBA Audio Applicationは、gigabeatと組み合わせて使うアプリケーションソフトです。
TOSHIBA Audio Applicationをお使いになる前にお読みください。

TOSHIBA Audio Applicationができること

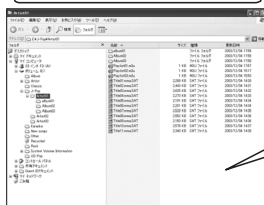
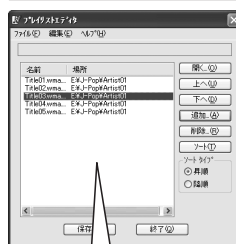
■ オーディオデータの転送

パソコン上のオーディオデータを、暗号化してgigabeatに転送できます。

ご注意！

- TOSHIBA Audio Application、Windows Media Player 9 シリーズを使ってgigabeatに転送したオーディオデータは、暗号化されているため、gigabeat以外では再生できません。
- TOSHIBA Audio Application、Windows Media Player 9 シリーズ以外を使ってgigabeatに転送しても、gigabeatでは再生できません。
- TOSHIBA Audio Applicationを使って、MP3やWMAなどのオーディオデータを作成／変換／再生することはできません。
- USBハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。

■ gigabeat 内の編集

ナビゲーション画面を使って、gigabeat内にフォルダを新規作成したり、作成したフォルダを編集できます。登録したフォルダはWindows のエクスプローラを使って表示できます。

また、プレイリスト編集画面を使ってプレイリストを新規作成したり、作成したプレイリストを編集できます。

TOSHIBA Audio Applicationに必要なシステム

適応パソコン： IBM PC/AT 互換機

- OS： Microsoft® Windows® 98 Second Edition
  Microsoft® Windows® Millennium Edition
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
  （いずれも標準インストール、日本語版のみ）
- CPU： Pentium® II 300MHz以上（Pentium® III 1GHz以上を推奨）
- メモリ： 128MB以上
- ハードディスク空き容量： オーディオデータを除き100MB
- USBポート
- CD-ROMドライブ
- Internet Explorer 5.01以降（2004年6月現在。将来のバージョンでは動作保証できないことがあります。）

ご注意！

- すべてのパソコンの動作を保証するものではありません。
- 自作パソコンは動作保証いたしません。
- OSをアップグレードする場合は、事前にTOSHIBA Audio Applicationを一旦アンインストールし、OSをアップグレードしたあとに再度インストールしてください。
- Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP ProfessionalでTOSHIBA Audio Applicationをお使いになるには、管理者(Administrator)の権限が必要です。
- Dual CPU構成のWindows 2000 Professional、Windows XP Professionalシステムでは、動作を保証しておりません。
- セキュリティシステムの処理上、他のセキュリティシステムを採用しているアプリケーションと同時に使用した場合は、アプリケーションのロック、システムの再起動などの問題が発生する場合があります。
- TOSHIBA Audio ApplicationとTOSHIBA Audio Managerは、同時に起動することができません。
- TOSHIBA Audio ApplicationとTOSHIBA Audio Managerが両方インストールされている場合、どちらか一方をアンインストールしたときは、もう一方が起動しなくなります。その場合は、各ソフトウェアのCD-ROMをパソコンに挿入し、再インストールしてください。

TOSHIBA Audio Applicationをインストールする

TOSHIBA Audio Applicationを使うために、お使いのパソコンにインストールします。
インストールする前に、他のアプリケーションを終了してください。

1 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

CD－ROMが自動認識され、セットアップ画面が表示されます。

- セットアップ画面が表示されない場合は、エクスプローラなどからCD-ROMの中の「Install.exe」をダブルクリックしてください。

2 「TOSHIBA Audio Application Ver. 4.1のインストール」ボタンをクリックする

インストールの準備画面を表示後、ウィザード画面が表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

（つづく）

4 使用許諾契約をよくお読みいただき、内容にご同意いただいた上で「同意する」ボタンをクリックする

「インストール先の選択」画面が表示されます。
お使いのパソコンの環境によって表示される内容が異なる場合があります。

5 インストール先を指定し、「次へ」ボタンをクリックする

「インストールタイプ」画面が表示されます。
「インストールタイプ」画面内のチェックボックスの内容を確認してください。

6 「次へ」ボタンをクリックする

「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。

7 「次へ」ボタンをクリックする

「readmej. txt」の内容が表示されます。

必要なシステムや注意事項などを説明していますのでよくお読みください。

8 「次へ」ボタンをクリックする

インストールが開始されます。インストールが完了すると、「InstallShield ウィザードの完了」画面が表示されます。

お使いのパソコンのOSや環境によっては再起動を促す画面が表示されますので、画面の指示に従ってください。

9 「完了」ボタンをクリックする

オーディオデータを gigabeat に転送する手順

TOSHIBA Audio Applicationを使って、以下の手順でオーディオデータやプレイリストを gigabeat に転送します。詳しくは、それぞれのページを参照してください。
Windows Media Player 9 シリーズを使ってオーディオデータを gigabeat に転送することもできます。「Windows Media Player 9 シリーズを使用するときは」（⇨37 ページ）をご覧ください。

1

転送したいオーディオデータ（MP3，WMA、WAV）を準備する
例：Windows Media Player（バージョン7.1以降）などを使って
音楽CDからオーディオデータをパソコンに取り込む
詳細については、お使いのソフトウェアの「ヘルプ」をご覧ください。

2

パソコンにgigabeatを接続する ⇨12ページ

3

TOSHIBA Audio Applicationを起動する ⇨15ページ

4

gigabeat内に転送先のフォルダを作成する ⇨19ページ

5

プレイリストを転送する場合は、プレイリストを作成する ⇨22ページ

6

オーディオデータやプレイリストをgigabeatに転送する ⇨20ページ

7

パソコンからgigabeatを取りはずす ⇨14ページ

■ Windows Media Playerでオーディオデータを取り込む場合のお願い

Windows Media Playerで音楽CDからオーディオデータをパソコンに取り込む場合は、以下の設定をしてください。

Windows Media Player 9 シリーズの場合

1 「ツール」メニューの「オプション」を選びます。
2 「音楽の録音」タブを選びます。
3 「保護された音楽を録音する」のチェックをはずします。

Windows Media Player for Windows XP の場合

1 「ツール」メニューの「オプション」を選びます。
2 「音楽のコピー」タブを選びます。
3 「コンテンツを保護する」のチェックをはずします。

Windows Media Player バージョン 7.1 の場合

1 「ツール」メニューの「オプション」を選びます。
2 「CD オーディオ」タブを選びます。
3 「個人用の著作権管理を有効にする」のチェックをはずします。

パソコンにgigabeatを接続する

パソコンからgigabeatにオーディオデータを転送するため、パソコンとgigabeatをＵＳＢ接続します。gigabeatの取りはずしかたは、「パソコンからgigabeatを取りはずす」（➡14ページ）をご覧ください。
ネットワークを使って接続する方法は、「ネットワーク編　取扱説明書」をご覧ください。

1 パソコンを起動する

2 gigabeatにＡＣアダプターを接続する

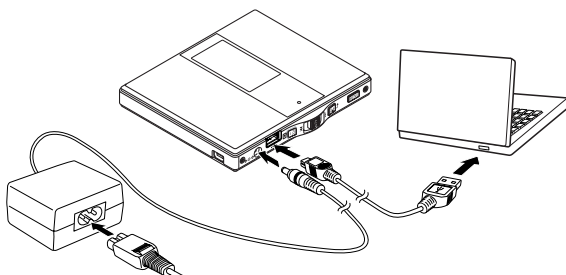
詳しくは、gigabeatの取扱説明書の「電池を充電する」（➡24ページ）をご覧ください。

USB接続で充電できるパソコンに接続する場合は、ＡＣアダプターを接続しなくてもパソコンに接続できます。

3 gigabeatの電源を入れる

詳しくは、gigabeatの取扱説明書の「電源を入れる／切る」（➡26ページ）をご覧ください。

4 USBケーブルを使って、パソコンとgigabeatを接続する

パソコンにgigabeatをはじめて接続すると、パソコンの画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。画面の指示に従ってUSBストレージドライバをインストールしてください。（➡13ページ）

gigabeatを 充電スタンド（MEG101、MEG050は別売）に差し込んだ状態でも、接続できます。

お願い

- 接続したとき充電インジケーターが点灯しない場合は、USBからの供給電源でなくgigabeatの内蔵電池を使用していますので、ACアダプターを接続してください。電池の消耗によってgigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- パソコンからデータの転送を行っているときは、ＡＣアダプターやUSBケーブルを抜かないでください。gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。

お知らせ

- パソコンとgigabeatを接続したときは、gigabeatの表示画面に「ＵＳＢ接続中」と表示されます。
- 「ＵＳＢ接続中」のときは、gigabeatの操作はできません。また、再生中に接続すると、再生は止まります。
- 充電中に長時間USB接続していると、gigabeat本体の温度上昇を制限するために一時的に充電を停止することがあります。充電が停止した場合は充電インジケーターが消灯します。

■ Windows 98 Second Editionの場合

1 ＵＳＢケーブルでパソコンとgigabeatを接続後、しばらくすると、gigabeatが自動的に検出され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示される

2 「次へ」ボタンをクリックする

3 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

5 「検索場所の指定」をチェックし、参照先にCD-ROMの中の「¥Driver¥Win98」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

6 ソフトウェアのインストールが実行される

7 「完了」ボタンをクリックする

8 ソフトウェアCD-ROMのメニュー画面が表示されている場合は、「閉じる」ボタンをクリックする

■ Windows Millennium Editionの場合

1 ＵＳＢケーブルでパソコンとgigabeatを接続後、しばらくすると、gigabeatが自動的に検出され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示される

2 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 ソフトウェアのインストールが実行される
「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されます。

4 「完了」ボタンをクリックする

5 ソフトウェアCD-ROMのメニュー画面が表示されている場合は、「閉じる」ボタンをクリックする

■ Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalの場合

1 ＵＳＢケーブルでパソコンとgigabeatを接続する

2 gigabeatが自動的に検出され、ドライバが自動的にインストールされる

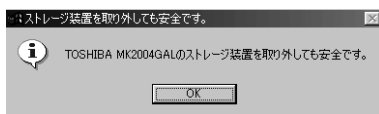
パソコンからgigabeatを取りはずす

パソコンからgigabeatを取りはずすには、以下の手順で行ってください。
パソコンからの取りはずしについて、詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ Windows 98 Second Editionの場合

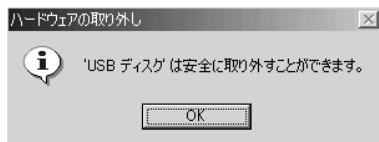
1 タスクバーの「ストレージ装置を安全に取り外す」をクリックする

2 TOSHIBA MK2004GALを安全に取り外す：ドライブ(E:) をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

■ Windows Millennium Editionの場合

1 タスクバーの「ハードウェアの取り外し」をクリックする

2 USB ディスク - ドライブ (E:) の停止 をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

■ Windows 2000 Professionalの場合

1 タスクバーの「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をクリックする

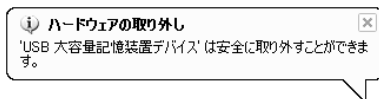
2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

■ Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalの場合

1 タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする

2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、メッセージをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

※ 手順2の画面はドライブ(E)を取りはずす例になっていますが、お使いのパソコンの環境によって、ドライブは変わります。

TOSHIBA Audio Applicationを起動する

起動のしかた

1 スタートメニューの「すべてのプログラム」※から「TOSHIBA Audio Application」の「Audio Application」をクリックする

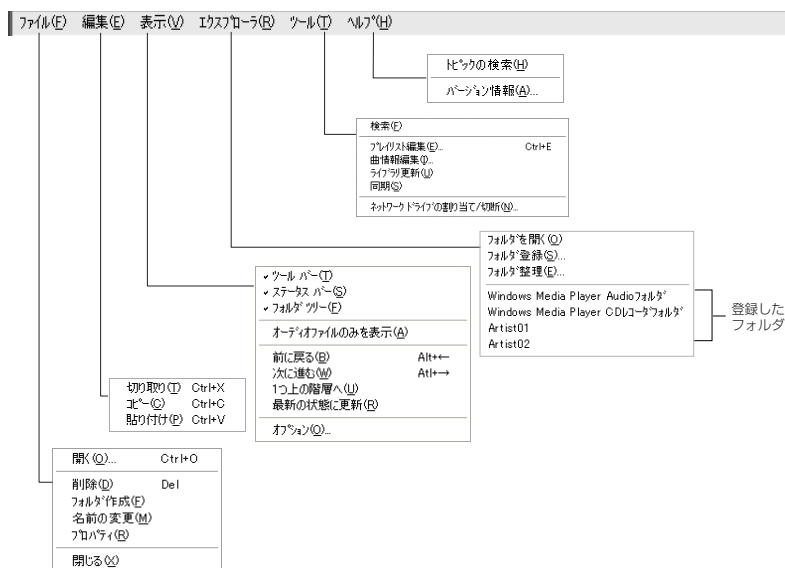
ナビゲーション画面が表示されます。
※ Windows XP 以外の OS の場合は「プログラム」と表示されます。

ナビゲーション画面について

■ フォルダツリーとファイルリスト

- フォルダツリーには、パソコンのドライブとフォルダがツリー構造で表示され、gigabeat として認識されたドライブは、gigabeat 用のアイコンで表示されます。
- ドライブまたはフォルダを選択すると、その下のフォルダとファイルがファイルリストに表示されます。
- フォルダツリーに表示されるドライブまたはフォルダのアイコンの左側にある＋/－をクリックすることで、下のフォルダの表示／非表示が切り換えられます。

TOSHIBA Audio Application を起動する（つづき）

■ メニューバー

●「ファイル」メニュー

開く	拡張子に関連づけされたアプリケーションを実行し、開きます。
削除	選んだフォルダやファイルを削除します。
フォルダ作成	選んだフォルダ内に新規のサブフォルダを作成します。（➪19ページ）
名前の変更	選んだフォルダやファイルの名前を変更します。
プロパティ	選んだフォルダやファイルのプロパティを表示します。
閉じる	TOSHIBA Audio Application を終了します。

●「編集」メニュー

切り取り	選んだフォルダやファイルを切り取ります。
コピー	選んだフォルダやファイルをコピーします。
貼り付け	切り取り／コピーしたフォルダやファイルを選んだフォルダに貼り付けます。gigabeatにオーディオデータを貼り付ける場合は、暗号化して貼り付けられます。

● 「表示」メニュー

ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り換えます。
ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り換えます。
フォルダツリー	フォルダツリーの表示／非表示を切り換えます。
オーディオファイルのみを表示	オーディオファイルのみを表示します。
前に戻る	直前に表示していたフォルダへ移動します。
次に進む	フォルダを再び表示します。
1つ上の階層へ	現在表示しているフォルダの一つ上のフォルダを表示します。
最新の状態に更新	フォルダやファイルを最新の状態で再表示します。
オプション	同期フォルダの設定(⇨28ページ)、背景の設定(⇨30ページ)、ライブラリの設定(⇨31ページ)、転送履歴の設定(⇨34ページ)、通信の設定(⇨ネットワーク編　取扱説明書)をします。

● 「エクスプローラ」メニュー（⇨26ページ）

フォルダを開く	フォルダをエクスプローラで開きます。
フォルダ登録	フォルダを登録します。
フォルダ整理	登録したフォルダを整理します。
登録したフォルダ	登録したフォルダをエクスプローラで開きます。

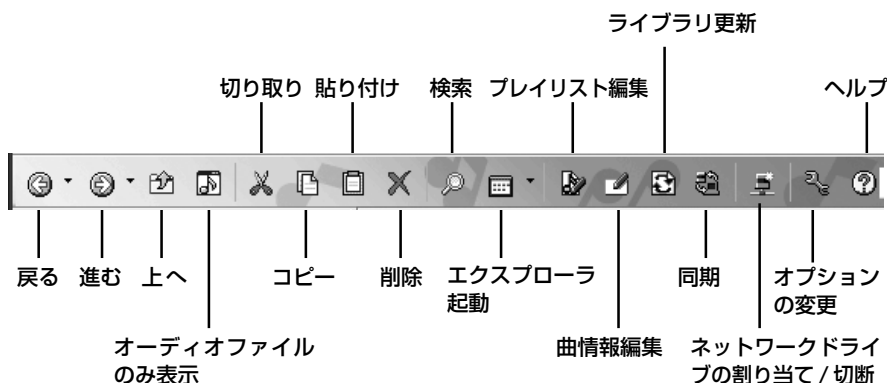
● 「ツール」メニュー

検索	ファイルの検索をします。
プレイリスト編集	プレイリスト編集画面を表示します。（⇨22ページ） プレイリスト（拡張子m3u）を選んだ場合： ● 選んだプレイリストの編集画面を表示します。 プレイリスト以外を選んだ場合： ● 新規のプレイリスト編集画面を表示します。
曲情報編集	曲情報を編集するためのダイアログを表示します。(⇨35ページ)
ライブラリ更新	gigabeatのライブラリを更新します。(⇨36ページ)
同期	同期フォルダをフォルダごとgigabeatに転送します。(⇨28ページ)
ネットワークドライブの割り当て／切断	gigabeatを指定したドライブに割り当て／切断します。 （⇨ネットワーク編　取扱説明書）

● 「ヘルプ」メニュー

トピックの検索	ヘルプを表示します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

■ ショートカットメニュー

フォルダやファイルを選んで右クリックすると、以下のようなショートカットメニューが表示されます。

■ ツールバー

お知らせ

- ショートカットメニューやツールバーで、メニューを選んだ場合と同じ操作ができます。

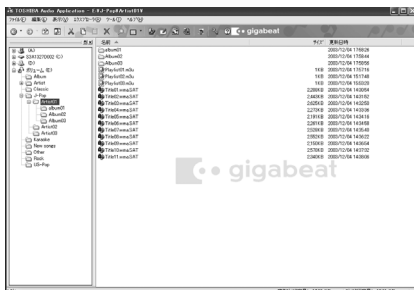
gigabeatにフォルダを作る

gigabeatの中に新規のフォルダを作成できます。

1 パソコンにgigabeatを接続する

パソコンとgigabeatを接続します。（⇨12、13ページ）

2 TOSHIBA Audio Applicationを起動する

ナビゲーション画面が表示されます。

3 gigabeatのドライブを選び､「ファイル」メニューの「フォルダ作成」をクリックする

「新しいフォルダ」という名前のフォルダが作成されます。

お願い

- gigabeatをパソコンから取りはずす場合は、タスクバーのアイコンを使用して「ハードウェアの取り外し」を行ってください。（⇨14ページ）

お知らせ

- フォルダ構造とオーディオデータの選択について、詳しくは⇨gigabeat取扱説明書43ページをご覧ください。
- プレイリストを作成すると、フォルダに関係なく、プレイリストで指定した順番でオーディオデータを再生します。（⇨22ページ）

オーディオデータを gigabeat に転送する

MP3、WMA、WAV のオーディオデータを gigabeat に転送できます。m3u の拡張子がついたプレイリスト（⇨23、24 ページ）も転送できます。

1 パソコンに gigabeat を接続する

パソコンと gigabeat を接続します。（⇨12、13 ページ）

2 TOSHIBA Audio Application を起動する

ナビゲーション画面が表示されます。

3 転送したいオーディオデータを選び、「編集」メニューの「コピー」をクリックする

4 転送先にしたい gigabeat のフォルダを選び、「編集」メニューの「貼り付け」をクリックする

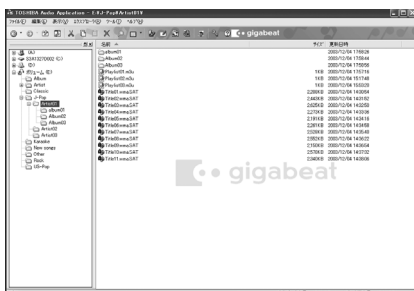
選んだオーディオデータを暗号化したものが gigabeat に転送されます。

- 選んだオーディオデータを転送したいフォルダまでドラッグしても転送できます。
- 選んだオーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「コピー」をクリックし、転送したいフォルダ上で「貼り付け」をクリックしても転送できます。

お知らせ

- 暗号化されたオーディオデータは、「(元のオーディオデータ名).SAT」という名前になります。
- gigabeat に転送されたオーディオデータをパソコンにコピーしても、暗号化されたままのファイルがコピーされます。
- エクスプローラから TOSHIBA Audio Application へオーディオデータを転送することもできます。
- 「同期」機能を使って転送することもできます。（⇨28 ページ）
- TOSHIBA Audio ApplicationでWMA Professional/WMA Lossless/WMA Voice フォーマットのオーディオデータは転送できません。

オーディオデータを gigabeat から削除する

1 TOSHIBA Audio Application を起動する

ナビゲーション画面が表示されます。

2 削除したいオーディオデータを選び、「ファイル」メニューの「削除」をクリックする

「ファイルの削除の確認」画面が表示され、「はい」をクリックすると、選んだオーディオデータがごみ箱に移動します。

- オーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューからも「削除」できます。

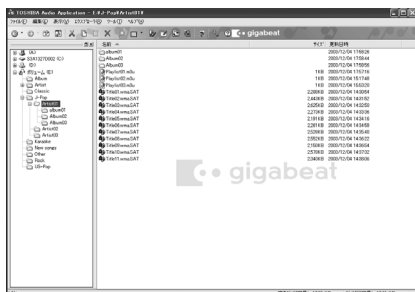
お知らせ

- 「削除」をしてもオーディオデータはごみ箱に移動するだけで、gigabeatの空き容量は増えません。オーディオデータを削除して gigabeat の空き容量を増やすには、ごみ箱を空にしてください。
- 「表示」メニューの「オーディオファイルのみを表示」で、オーディオファイルのみを表示している場合は、ファイルやフォルダは削除できません。

プレイリストを編集する

プレイリストを作成すると、指定した順番にオーディオデータを再生できます。

プレイリストを作成する

1 TOSHIBA Audio Applicationを起動する

ナビゲーション画面が表示されます。

2 「ツール」メニューの「プレイリスト編集」をクリックする

プレイリスト編集画面が表示されます。

3 「追加」ボタンをクリックする

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

4 プレイリストに追加したいオーディオデータを選ぶ

選んだオーディオデータがプレイリストに追加されます。

- 選べるファイルは、SAT、MP3、WMA、WAVの４種類です。
- 追加できるオーディオデータは、同じドライブ内にあるものだけです。
- 「上へ」、「下へ」ボタンで順番を変更できます。プレイリストの再生は、上から順に行われます。

5 「保存」ボタンをクリックする

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されたら、名前を付けて保存します。
保存先は、プレイリストに追加したオーディオデータと同じドライブを選んでください。異なるドライブには保存できません。

6 「終了」ボタンをクリックする

プレイリスト編集画面が閉じます。

お知らせ

- プレイリストのファイル名はm3uの拡張子がつきます。

プレイリストを編集する

1 TOSHIBA Audio Applicationを起動する

ナビゲーション画面が表示されます。

2 「ツール」メニューの「プレイリスト編集」をクリックする

プレイリスト編集画面が表示されます。

3 「開く」ボタンをクリックする

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

4 編集したいプレイリストを選ぶ

選んだプレイリストの編集画面が表示されます。

- 拡張子がm3u以外のファイルは選べません。

5 プレイリストを編集する

選んだオーディオデータを上へ移動します。（「編集」メニューの「上へ」も同じです。）

選んだオーディオデータを下へ移動します。（「編集」メニューの「下へ」も同じです。）

プレイリストにオーディオデータを追加します。（「編集」メニューの「追加」も同じです。）

選んだオーディオデータをプレイリストからはずします。（「編集」メニューの「削除」も同じです。）

プレイリスト内のオーディオデータを名前でソートします。ソート順はソートタイプで指定します。

6 「保存」ボタンをクリックする

上書き保存されます。

- 別の名前で保存したい場合は、「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックします。

お知らせ

- ナビゲーション画面でプレイリストを選んでから、「ツール」メニューの「プレイリスト編集」をクリックすると、プレイリストを編集できます。

よく使うフォルダをエクスプローラで開く

よく使うフォルダを登録しておくと、簡単な操作で、フォルダをエクスプローラで開くことができます。

フォルダを登録する

1 「エクスプローラ」メニューの「フォルダ登録」をクリックする

「フォルダの登録」ダイアログが表示されます。

2 「参照」をクリックする

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ドライブを選択できます。

3 登録したいフォルダを選び「選択」をクリックする

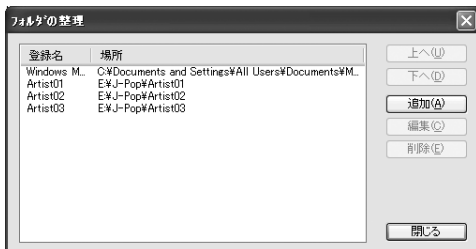
「フォルダの登録」ダイアログに戻ります。

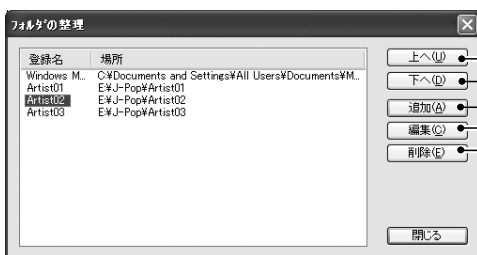
4 「登録」ボタンをクリックする

入力したフォルダが登録されます。

- フォルダは 30 個まで登録できます。

登録したフォルダを整理する

1 「エクスプローラ」メニューの「フォルダ整理」をクリックする

「フォルダの整理」ダイアログが表示されます。

2 選んだフォルダを整理する

- 選んだフォルダを上へ移動します。
- 選んだフォルダを下へ移動します。
- 新しいフォルダの登録をします。「フォルダの登録」ダイアログが表示されます。新しいフォルダは、フォーカスされているフォルダの下に追加されます。
- 選んだフォルダの内容を変更します。「フォルダの登録」ダイアログが表示されます。
- 選んだフォルダを登録から削除します。

登録したフォルダを開く

1 「エクスプローラ」メニューから登録したフォルダをクリックする

クリックしたフォルダをエクスプローラで開きます。

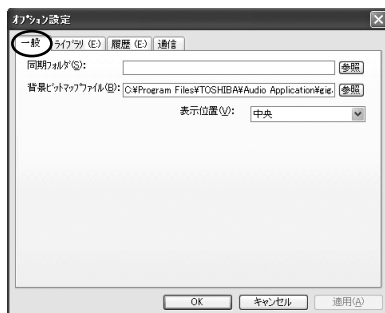
お知らせ

- 登録していないフォルダも以下の操作をすると、エクスプローラで開くことができます。
  - フォルダを選んで「エクスプローラ」メニューの「フォルダを開く」をクリックする。
  - フォルダを選んで右クリックし、ショートカットメニューの「エクスプローラ」をクリックする。
  - フォルダを選んでツールバーの「エクスプローラ起動」をクリックする。

同期フォルダを設定する / 転送する

同期フォルダを設定しておき、「ツール」メニューの「同期」をクリックすると、同期フォルダをフォルダごと gigabeat に転送できます。
同期フォルダは、TOSHIBA Audio Application を起動したときに最初に表示されます。

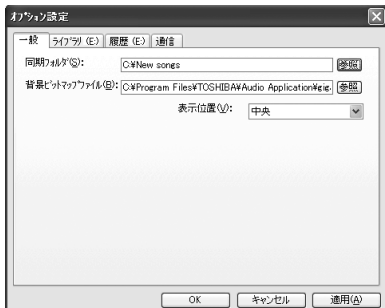
同期フォルダを設定する

1 「表示」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが表示されます。

2 「一般」タブの「同期フォルダ」の横の「参照」をクリックする

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ドライブを選択できます。

3 設定したいフォルダを選び「選択」をクリックする

「オプション設定」ダイアログに戻ります。

4 「OK」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが閉じ、同期フォルダが設定されます。

同期フォルダを転送する

1 パソコンに gigabeat を接続する

2 TOSHIBA Audio Application を起動する

3 「ツール」メニューの「同期」をクリックする

同期フォルダをフォルダごと gigabeat に転送されます。

お知らせ

- ツールバーの「同期」ボタンでも同期フォルダを転送できます。
- すでに転送されているファイルで、転送元のファイルの方が新しい場合は転送されます。
- 転送元からファイルが削除されていても、gigabeatの方のファイルは削除されません。
- 同期フォルダの下にあるすべてのファイルが転送されます。
- 同期フォルダに、ルートフォルダを設定することはできません。

背景を設定する

ナビゲーション画面のファイルリストの部分に背景(ビットマップファイル)を設定できます。

1 「表示」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが表示されます。

2 「一般」タブの「背景ビットマップファイル」の横の「参照」をクリックする

「ファイルを開く」画面が表示されます。

3 背景にしたいビットマップファイルを選び、「開く」をクリックする

「オプション設定」ダイアログに戻ります。

4 表示位置を選んで、「OK」をクリックする

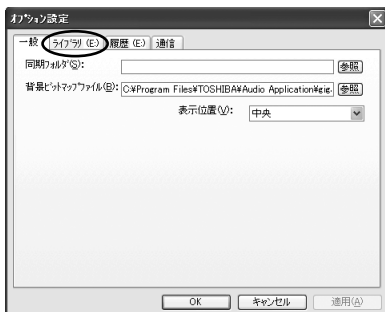
「オプション設定」ダイアログが閉じ、背景が設定されます。

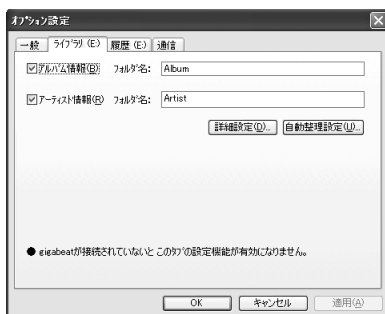
ライブラリを設定する

gigabeat のライブラリを設定することができます。

■ ライブラリとは

ライブラリには「アルバム情報」、「アーティスト情報」の２種類があり、パソコンから gigabeat にオーディオデータを転送したときに自動的に作成されます。ライブラリに登録されるのは、TOSHIBA Audio Application を使って転送したオーディオデータだけです。

1 「表示」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが表示されます。

2 「ライブラリ」タブをクリックする

「ライブラリ」の設定画面が表示されます。

3 「アルバム情報」、「アーティスト情報」などの設定を変更し、「ＯＫ」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが閉じ、設定が反映されます。

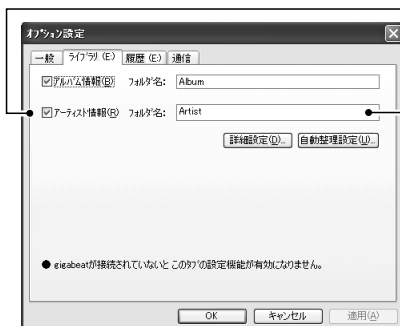
「アルバム情報」、「アーティスト情報」などの設定内容については以降のページをご覧ください。

ライブラリを設定する（つづき）

■ アルバム情報を設定する

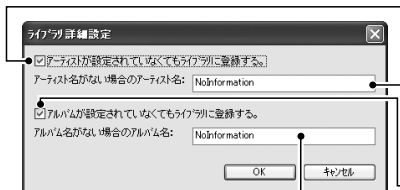
チェックを入れると、オーディオデータをgigabeatに転送するとき、アルバム情報がライブラリに登録されます。このフォルダはgigabeatのルートフォルダに作成されます。

アルバム情報を保存するフォルダ名を設定します。

■アーティスト情報を設定する

チェックを入れると、オーディオデータをgigabeatに転送するとき、アーティスト情報がライブラリに登録されます。

アーティスト情報を保存するフォルダ名を設定します。このフォルダはgigabeatのルートフォルダに作成されます。

■ 詳細設定をする

「ライブラリ」タブの「詳細設定」をクリックします。
設定したあと「OK」をクリックしてください。

チェックを入れると、オーディオデータをgigabeatに転送するとき、曲情報にアーティスト名がなくてもライブラリに登録します。

曲情報にアーティスト名がない場合に、便宜的に使用するアーティスト名です。

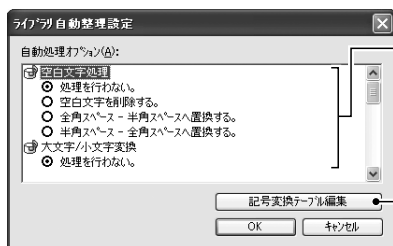
チェックを入れると、オーディオデータをgigabeatに転送するとき、アルバム名がなくてもライブラリに登録します。

曲情報にアルバム名がない場合に、便宜的に使用するアルバム名です。

お知らせ

- ライブラリの設定を変更できるのは、パソコンにgigabeatが接続されているときです。変更した値や内容は、gigabeatのルートフォルダにあるgigabeat.confに保存されます。
- 複数のgigabeatをパソコンに接続した場合は、ドライブレターの若い方だけが「オプション設定」に表示されます。

■ 自動整理設定をする

「ライブラリ」タブの「自動整理設定」をクリックします。
設定したあと「OK」をクリックしてください。

アルバム名やアーティスト名の読み換え、置換を行う処理を選びます。

クリックすると、「記号変換テーブルの編集」ダイアログが表示され、記号の置換文字を設定します。

「記号変換テーブルの編集」ダイアログ
設定したあと「OK」をクリックしてください。

変換させたい記号を入力します。

変換後の文字を入れます。

入力した「記号」「置換文字」を記号変換テーブルに追加します。

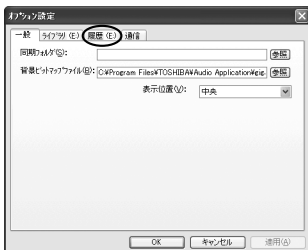
記号変換テーブルで選択している記号を、入力した「記号」「置換文字」に変更します。

選択した記号を削除します。

はじめに
準備する
使用する
その他

転送履歴を設定する

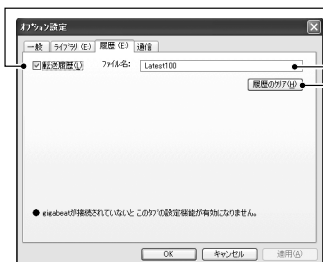
転送履歴のファイルは、最近転送したオーディオデータのプレイリストとしてgigabeatに転送されます。gigabeatでそのプレイリストを選んで、最近転送したオーディオデータだけを再生することができます。

1 「表示」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが表示されます。

2 「履歴」タブをクリックする

「履歴」の設定画面が表示されます。

3 転送履歴を設定し、「OK」をクリックする

「オプション設定」ダイアログが閉じ、設定が反映されます。

チェックを入れると、オーディオデータをgigabeatに転送するとき、転送履歴が指定したファイル名のプレイリストに保存されます。このファイルはgigabeatのルートフォルダに作成され、最大100曲までの履歴が保存されます。

転送履歴を保存するファイル名を設定します。

クリックするとプレイリストの内容をクリアします。ファイルそのものは削除されません。

お知らせ

- 転送履歴の設定を変更できるのは、パソコンにgigabeatが接続されているときです。変更した値や内容は、gigabeatのルートフォルダにあるgigabeat.confに保存されます。
- 複数のgigabeatをパソコンに接続した場合は、ドライブレターの若い方だけが「オプション設定」に表示されます。

曲情報を編集する

それぞれの曲情報（タイトル、アーティスト名、アルバム名）を変更できます。

1 オーディオデータを選び、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックする

「曲情報編集」ダイアログが表示されます。

フォルダ内にオーディオデータがひとつしかない場合は、「◀」、「▶」、「すべてに設定」ボタンは選択できません。

2 曲情報を変更し、「OK」をクリックする

曲情報が変更され、ライブラリが自動的に更新されます。

ライブラリを更新する

gigabeatのライブラリを更新することができます。
gigabeatのライブラリの更新には、自動更新と手動更新があります。

ライブラリの自動更新について

gigabeatへのオーディオデータの転送時は自動的にライブラリが更新されます。
gigabeat上のSATファイルの曲情報編集時もライブラリが更新されます。

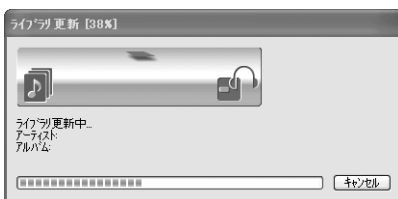
ご注意!

- 「削除」や「名前の変更」では、ライブラリは更新されません。「削除」や「名前の変更」をした場合は、手動でライブラリを更新してください。

ライブラリを手動で更新する

gigabeatのライブラリを最新の状態にするには、メニューの「ライブラリ更新」で行います。

1 TOSHIBA Audio Applicationのフォルダツリーの中のgigabeatを選ぶ

2 「ツール」メニューの「ライブラリ更新」をクリックする

ライブラリの更新が開始され、進行ダイアログが表示されます。

- ダイアログ内の「キャンセル」ボタンで更新を中止できます。

お知らせ

- gigabeatが選択されていないと、「ライブラリ更新」をクリックできません。
- 「ライブラリ更新」では、存在しないファイルが転送履歴にある場合は、そのファイルは転送履歴から削除されます。

お願い

- 更新中に「キャンセル」などで更新処理を中止した場合、ライブラリが正しく作成されていないことがあります。もう一度、「ライブラリ更新」を行ってください。
- エラーなどで中止された場合は、エラーの原因を取り除いた上で、もう一度更新を行ってください。

Windows Media Player 9 シリーズを使用するときは

本製品は、付属のソフトウェアTOSHIBA Audio Applicationを使って本機にオーディオデータを転送しますが、マイクロソフト社のWindows Media Player 9シリーズを使ってもオーディオデータを本機に転送できます。Windows Media デジタル著作権管理(DRM)をサポートしており、ライセンス付きWMAファイルにも対応します。
Windows Media Player 9シリーズを使用するときは、付属のCD－ROMに収められているWindows Media driver for gigabeatをインストールしてください。

Windows Media driver for gigabeatをインストールする

■ 必要なシステム

適応パソコン： IBM PC/AT 互換機
- OS： Microsoft® Windows® 98 Second Edition
  Microsoft® Windows® Millennium Edition
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
  （いずれも標準インストール、日本語版のみ）
- CPU： Pentium® II 300MHz以上（Pentium® III 1GHz以上を推奨）
- メモリ： 128MB以上
- ハードディスク空き容量： オーディオデータを除き1MB
- CD-ROMドライブ
- USBポート
- Windows Media Player 9 シリーズをインストール済みであること

※ すべてのパソコンの動作を保証するものではありません。
※ Dual CPU構成のWindows 2000 Professional、Windows XP Professionalシステムでは、動作を保証しておりません。

■ 使用上の注意事項

- Windows Media driver for gigabeatをインストールしたWindows Media Player 9 シリーズとTOSHIBA Audio Applicationの同時起動はできません。
- WMA/WAVファイルはgigabeatに転送する際に以下のように変換されます。

転送前	gigabeatに転送後
WMA Professional	WMA CBR(32kbps～160kbps)に変換
WMA Lossless	WMA CBR(32kbps～160kbps)に変換
WMA Voice	WMA CBR(32kbps)に変換
WMA VBR	平均ビットレートが32kbps～160kbpsの場合： → そのまま転送 平均ビットレートが32kbps～160kbpsの範囲外の場合： → WMA CBR(32kbps～160kbps)に変換
WAV(PCM)	WMA CBR(32kbps～160kbps)に変換

■ インストール手順

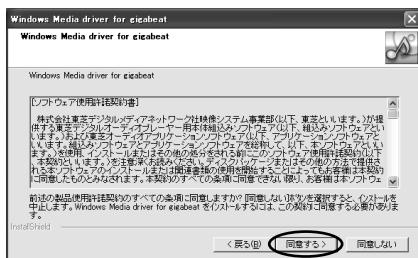
- Windows Media Player 9 シリーズがインストールされていなければ、Windows Media Player 9 シリーズを先にインストールしてください。
  Windows Media Player 9 シリーズは、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてください。
- インストールをする前に、他に起動しているアプリケーションをすべて終了しください。

1 付属のソフトウェアCD－ROMをパソコンのCD－ROMドライブに挿入する

CD－ROMが自動認識され、セットアップ画面が表示されます。

- セットアップ画面が表示されない場合は、エクスプローラなどからCD-ROMの中の「Install.exe」をダブルクリックしてください。

2 「Windows Media driver for gigabeatのインストール」ボタンをクリックする

インストールの準備画面を表示後、ウィザード画面が表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

4 使用許諾契約をよくお読みいただき、内容にご同意いただいた上で「同意する」ボタンをクリックする

「情報」画面が表示されます。必要なシステムや注意事項などを説明していますので、よくお読みください。

5 「次へ」ボタンをクリックする

インストールが開始されます。インストールが完了すると、「InstallShield ウィザードの完了」画面が表示されます。

お使いのパソコンのOSや環境によっては再起動を促す画面が表示されますので、画面の指示に従ってください。

6 ウィザードが完了したら「完了」ボタンをクリックする

Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition の場合は、このあとパソコンを再起動してください。

オーディオデータを gigabeat に転送する手順

Windows Media Player 9シリーズを使って、以下の手順でオーディオデータをgigabeatに転送します。

1

転送したいオーディオデータ（MP3、WMA、WAV）を準備する
例：Windows Media Player9シリーズを使って音楽CDから オーディオデータをパソコンに取り込む
詳細については、Windows Media Player 9シリーズの「ヘルプ」をご覧ください。

2

パソコンにgigabeatを接続する ⇨12ページ

3

Windows Media Player 9シリーズを起動する

4

オーディオデータをgigabeatに転送する ⇨41ページ

5

パソコンからgigabeatを取りはずす ⇨14ページ

お願い

Windows Media Player 9シリーズを使ってオーディオデータを取り込む場合は、「Windows Media Playerでオーディオデータを取り込む場合のお願い」（⇨11ページ）もご覧ください。

オーディオデータを gigabeat に転送する

Windows Media Player 9シリーズを使って、MP3、WMA、WAVのオーディオデータをgigabeatに転送します。

1 Windows Media Player 9 シリーズ上で「デバイスへ転送」をクリックする

2 転送したいオーディオデータを選ぶ

3 転送先のデバイスとして gigabeat を選ぶ

4 「転送」ボタンをクリックする

詳しくは、Windows Media Player 9 シリーズのヘルプをご覧ください。

お知らせ

- 転送したオーディオデータは、TOSHIBA Audio Application で転送した場合と同様に、gigabeat 用のオーディオフォーマット（SAT ファイル）に変換されます。
- 転送したオーディオデータは、gigabeat内の指定したフォルダにすべて保存されます。ただし、転送の際指定したフォルダ内に新しいフォルダは作成されません。
- 転送したオーディオデータのタグにタイトル名がはいっている場合は、そのタイトル名がgigabeat内のファイル名として保存されます。タグにタイトル名がはいっていない場合は、転送したファイル名が gigabeat 内のファイル名として保存されます。
- 転送するファイル名と同じ名称のファイル名が転送先に存在する場合は、強制上書きされます。
- ライセンス付きWMA ファイルは、そのライセンス条件により gigabeat へ転送できない場合があります。

内蔵ハードディスクを初期化する

gigabeatの内蔵ハードディスクは出荷時にFAT32形式でフォーマットされています。したがって、改めてパーティションの作成およびフォーマットをする必要はありません。

ただし、フォーマット形式の異なる機器でgigabeatの内蔵ハードディスクを初期化して、使用できなくなってしまった場合には、パソコンにgigabeatを接続し、OSに応じて以下の手順で再度パーティションの作成とフォーマットをしてください。gigabeatの内蔵ハードディスクを再度初期化する場合は、保存されている内容を確認してください。初期化によって、gigabeatの内蔵ハードディスクに保存されていた情報はすべて消去されます。

■ Windows 98 Second Edition / Windows Millennium Editionの場合

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする
- 「MS-DOSプロンプト」は、「プログラム」の中にはいっている場合もあります。

2 “fdisk”と入力し、fdiskをコマンドラインから起動させる

3 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)で「Y」を入力する

4 「5. 現在のハードディスクドライブを変更」を選択する

5 使用量が表示されていないドライブを選択する

6 「1. MS-DOS領域論理MS-DOSドライブを作成」を選択する

7 「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択する

8 パーティションが作成されたので、fdiskを終了し、Windowsを再起動する

9 「マイコンピュータ」を開く

10 gigabeatのドライブを右クリックしてショートカットメニューを開き、「フォーマット」をクリックする

11 「通常のフォーマット」を選択し、「開始」ボタンをクリックする

■ Windows 2000 Professional / Windows XP Home Edition / Windows XP Professionalの場合

1 「スタート」→「 コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」をクリックする

2 「ディスク管理」をクリックする

3 表示されたgigabeatのドライブを右クリックしてショートカットメニューを開き、「新しいパーティション」をクリックする

「新しいパーティションウィザード」が起動されるので、ウィザードにしたがってパーティション作成とフォーマットを行ってください。
- Windows 2000 Professionalの場合は、「パーティションの作成」をクリックしてください。「パーティションの作成ウィザード」が起動されます。
- 使用するファイルシステムはFAT32としてください。

ご注意!

- フォーマットする場合は、必ずFAT32形式、1パーティションとなるように初期化をしてください。これ以外の形式では、動作を保証しておりません。

自動的に作成されるファイル / フォルダについて

ファイル / フォルダ名	いつ作成されるか	削除した場合、gigabeat 本体は	復元するには
gb-net.bin	ネットワークモジュールのインストール時	ネットワークに切り換わりません。	ネットワークモジュールを再度インストールしてください。
gigabeat.conf	TOSHIBA Audio Application または Windows Media Player for gigabeat が gigabeat を認識した時点で、gigabeat のルートフォルダに gigabeat.conf がなかったとき	・ライブラリのアーティストフォルダとアルバムフォルダが空になります。 ・表示は切り換わりますが、ネットワークには接続されません。	TOSHIBA Audio Application が gigabeat を認識した時点で再度作成されます。ただし設定値はデフォルト値に戻ります。
latest100.m3u（ファイル名は TOSHIBA Audio Application のオプションで変更可能）	TOSHIBA Audio Application または Windows Media Player for gigabeat でオーディオデータを転送するとき	転送履歴はなくなります。	削除した転送履歴は復元はできませんが、次回転送するときに新たな転送履歴が作成されます。
Artist フォルダ（フォルダ名は TOSHIBA Audio Application のオプションで変更可能）	・TOSHIBA Audio Application または Windows Media Player for gigabeat でオーディオデータを転送するとき ・TOSHIBA Audio Application でライブラリを更新したとき	ライブラリのアーティストフォルダが空になります。	TOSHIBA Audio Application で「ライブラリ更新」をしてください。
Album フォルダ（フォルダ名は TOSHIBA Audio Application のオプションで変更可能）	・TOSHIBA Audio Application または Windows Media Player for gigabeat でオーディオデータを転送するとき ・TOSHIBA Audio Application でライブラリを更新したとき	ライブラリのアルバムフォルダが空になります。	TOSHIBA Audio Application で「ライブラリ更新」をしてください。

- 作成される場所はすべて gigabeat のルートフォルダです。
- gb-net.bin はネットワークモジュールのインストーラによって作成されます。
  その他のファイル / フォルダは TOSHIBA Audio Application または Windows Media driver for gigabeat によって作成されます。

おもなエラーメッセージ

エラーメッセージ	内容＆対処方法
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（このオーディオデータはコピー禁止です。）	コピー禁止情報が付いたオーディオデータを転送しようとしました。
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（サンプリング周波数・ビットレートが対象外です。）	gigabeat で対応していない、サンプリング周波数・ビットレートのオーディオデータを転送しようとしました。 （gigabeat 取扱説明書の「仕様」）
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（コンテンツ保護されたデータには対応していません。）	コンテンツ保護されている WMA 形式のオーディオデータを転送しようとしました。（⇨11 ページ）
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（対応していない形式です。）	対応していない形式の MP3、WMA、WAV ファイルを転送しようとしました。
プレイリストの形式に誤りがあります。	プレイリストの書式に誤りがあります。プレイリストは、TOSHIBA Audio Application で作成してください。
プレイリスト（ドライブ：ドライブ名）に異なるドライブ（ドライブ名）のオーディオデータを登録しようとしています。 異なるドライブのオーディオデータを混在することはできません。	異なるドライブのオーディオデータをプレイリスト中に混在させることはできません。同じドライブのオーディオデータを指定してください。
オーディオデータがあるドライブと異なるドライブにプレイリストを保存しようとしています。	登録しているオーディオデータと異なるドライブにプレイリストを保存することはできません。 オーディオデータと同じドライブに保存してください。

よくある質問

Q：TOSHIBA Audio Application で gigabeat が認識されない。

A：USB ハブを使用してパソコンと接続している場合は認識できないことがあります。USB ハブを使用しないでパソコンと接続してください。

Q：オーディオデータを gigabeat に転送できない。

A：gigabeat で再生できないオーディオデータは gigabeat に転送できません。

gigabeatで再生できるオーディオデータについては、gigabeat本体取扱説明書の「仕様」をご覧ください。

Q：Windows Media Playerで取り込んだオーディオデータをgigabeatに転送できない。

A：Windows Media Player で作成したオーディオデータのうち、著作権保護の対象となっているものは、転送することができません。「Windows Media Playerでオーディオデータを取り込む場合のお願い」（➡11 ページ）をご覧ください。

Q：gigabeat の取りはずしに失敗した。

A：TOSHIBA Audio Application や、エクスプローラなどで gigabeat のドライブや gigabeat内のファイルを開いていると、取りはずせない場合があります。アプリケーションを終了させてから、再度、取りはずしをしてください。

Q：同じドライブ内へドロップすると、ファイルがコピーされてしまう。

A：TOSHIBA Audio Application では、同じドライブにドロップすると、ファイルをコピーする仕様となっています。

Q：パソコンにgigabeatの従来機種と本機種を同時に接続しようとすると、どちらか一方しか接続できない。

A：Windows 98 Second Edition のパソコンに同時に接続するには、gigabeat の従来機種の USB ストレージドライバの更新が必要です。以下の手順で USB ストレージドライバの更新をしてください。

1　パソコンから gigabeat を取りはずす

2　従来機種の USB ストレージドライバをアンインストールする

1　「スタート」ー「設定」ー「コントロールパネル」をクリックする

2　「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする

3　「USB Storage Adapter V3 (TPP)」を選択して、削除を実行する

3　削除後、パソコンを再起動する

4　新しい USB ストレージドライバをインストールする

新しい USB ストレージドライバは、本機付属のソフトウェア CD-ROM の中の「¥Driver¥Win98」にあります。
インストールのしかたは➡13 ページをご覧ください。

操作上のご質問、ご相談は以下へお願いします。

東芝モバイルAVサポートセンター
受付時間　月～土（祝祭日、年末、年始等を除く）
10:00～20:00
TEL　0570-05-7000（ナビダイヤル）
FAX 03-3258-0470

ホームページもご覧ください。
http://www.gigabeat.net/

- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくしているために実際とは多少異なる場合があります。
- アイコンの表示位置などは変更になる場合があります。